

# 九州・熊本の産業 遺産と水俣

後援 九州産業考古学会／熊本産業遺産研究会／水俣市／水俣市教育委員会

本年七月五日ユネスコ世界遺産委員会は、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」を世界遺産として登録することを決定しました。これらの産業遺産登録は、日本の近代化の歩みを人類の財産として大事にしていくという世界的なメッセージですが、それは同時に自分たちの町の近代化の歴史を見直し、町を元気にしていくようという働きかけであります。

水俣にも一九〇八年（明治四十二）年に操業を開始した旧日本窒素肥料株式会社水俣工場の建物が残っています。現在は株式会社江川の水俣工場として活用されています。水俣でもあまり知られていませんが、これは水俣の近代化を進めた貴重な建物です。そこで、私たちは、世界遺産登録を機に産業遺産とは何かに学び、熊本そして水俣の産業遺産を見直したいと考えました。

お申し込みは

水俣学現地研究センター

水俣市浜町二一七一三

電話・FAX 〇九六六一六三一五〇二〇

開館時間 火～金 午前十時から午後四時

\*電話・FAX・メール m-genchi@kumagaku.ac.jp

ません

期間：2015年10月6日から  
毎週火曜日 午後6時30分～  
会場：水俣市公民館ホール

- 10月6日 幸田亮一（熊本学園大学学長）  
「熊本・九州の産業遺産とその意味」
- 10月13日 藤木雄二（大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ副理事長）  
「産業遺産としての三池炭鉱の光と陰」
- 10月20日 市原猛志（九州大学百年史編集室 助教・北九州市門司麦酒煉瓦館館長）  
「北九州での産業遺産活用の取組み」
- 10月27日 磯田桂史（熊本大学五高記念館客員教授）  
「水俣の産業遺産 旧日本窒素肥料（株）工場建物の意義」
- 11月3日 旧工場現地見学会 案内：磯田桂史  
\*この回のみ 午後1時～（詳細裏面）

受講はすべて無料です  
全講義受講者には修了証を発行します